

言葉の世界を広げる多義語

元の意味から派生を繰り返して、しだいにいくつもの意味をもつようになったものを多義語という。一見単純な言葉ほど、多くの意味をもつ多義語である場合が多い。言葉の意味は現在も派生し続けている。

ここで取り上げる「受ける」という語も多義語の一つであり、国語辞典では、下のようにさまざまな意味が示されている。

さらに最近では、「おもしろくて笑える。」というような意味でも使われることが多くなってきた。これは、⑤の「人気を集める。好評を得る。」という意味から派生したと考えられている。

多義語の新しい意味は、多くの人に使われることで定着し、言葉の世界を広げる。これからも、時代や社会の変遷とともに、新しい意味が生まれるかもしれない。

う

う・ける【受ける】

- ① 自分の方に向かってくるものをとる。
【用例】ボールを受ける。風を受ける。
- ② 他からの行為や作用などの影響がある。
【用例】感銘を受ける。被害を受ける。
- ③ なにかよいものをもらう。いただく。
【用例】祝福を受ける。賞を受ける。
- ④ 自分に向けられた、ある行為に応じる。
【用例】試験を受ける。挑戦を受ける。
- ⑤ 人気を集める。好評を得る。
【用例】大衆に受ける。若者に受ける。
- ⑥ なにかをすることを承知する。
【用例】注文を受ける。誘いを受ける。

⑦
???